

インターンシップに参加して

下田 修

(北海道大学工学部情報工学科三年)

今年是全国的に記録的な猛暑で、比較的涼しいといわれる北海道も、道端に立っているだけで汗が噴き出してくるような日々が続きました。そんな暑さが残る中、八月二三日から九月三日までの二週間にわたり、私は北海道大学キヤリアセンタ―が行っているインターンシップに参加し、いろいろな体験をしてきました。以下では、今回のインターンシップについて、得たものや感想などを含めて述べていきたいと思います。

特集・就職

私が参加したインターンシップは今年度から大学の正課となったもので、研修期間が二週間の場合二単位がつくものです。大学が公開する受け入れ先企業リストを見て希望を出し、企業側の受け入れ条件とマッチすると参加が決定

するという仕組みです。決定した後は七月上旬に事前指導を受け、参加するにあたっての心構えや基本的なマナーなどを学び、また、「仮説を立てる」という形で「このインターンシップを通して何を重点的に学びたいのか」を決めるという作業も行いました。

このような過程を経て、八月に研修が始まりました。今回私を受け入れていただいたのは「株式会社モロオ」で、道内で医薬品卸を行っている会社です。ただし、今回の研修のメインは卸についてではなく、同時に事業を展開している病院や調剤薬局向けのコンピュータシステムについてでした。

私は、将来進もうと考えているコンピュータ・IT分野

の内容で研修を行う企業を選ぼうと考えていたので、こちらの会社に希望を出しました。

研修は、大まかに、最初の二日間で会社の概要や卸の役割などについて勉強し、その後の三日間で現在商品化されているコンピュータシステムの概要を学び、二週目は最終レポート（プレゼンテーション）に向けてレポート研究を行うという形で進みました。

また、名刺の授受や挨拶などビジネスマナーの研修、社員の方を交えての職業観に対するディスカッション、就職活動をするにあたってのポイントの研修など、この先就職を控えている私にとって有益なプログラムも多く組み込まれていました。

私は普段卸の存在を意識することはほとんどなかったため、その分野に関する知識をあまり持たないまま研修を開始することになりました。そのため専門用語や新しい概念などが次々と出てきて吸収するのが大変でしたが、逆に全てが新鮮で、例えば物流センターの見学では、大きな倉庫に大量の商品があり、それらが次々と箱詰めされていく様子はとても興味深いものでした。

システム概要の勉強では在庫管理システムや患者取り違い防止のためのシステムなどを学び、また病院を見学してそれらが実際に使われている様子を見ることができました。大学の授業で作る小規模なプログラムではなく、業務フロアに関わるような大規模なシステムが使用されている現場を見たり使っている人の話を聞いたりできたのは、システム開発などのほうに進むことを考えている私にとってとても有意義な体験でした。

今回のインターンシップで最も特徴的かつ大変だったのは、最終レポートについてであったと思います。研修が始まるまでは「インターンシップ」というのはサポート業務を体験したりプログラムを作成したりするなどのいわゆる「就業体験」をするものかと考えていました（もちろん、そのようなカリキュラムを組んでいる所もあります）が、今回のインターンシップでは、既存のシステムの印象などを元に「私が考える新たなユーザー支援システム」というテーマでシステムを提案するのが最終課題でした。

私は、「Canナビ」と名付けた、患者一人一人の治療計画を具体化・可視化し、医師と患者そして看護師が互い

に意見を出し合いながら一緒に計画を立て共有できるようにするというシステムを提案し、幸いなことに高い評価をいただくことができました。

私は就業体験、特に作業的な部分はかりを頭に描いていたので、レポート研究を始めた最初のうちはこのような研修に多少違和感も感じました。しかし、終わった今改めて考えてみると、このように何かを提案するというのは社会に出ると非常に重要になるスキルであり、学生のうちに、しかもマネージャーなど「上司」に相当する人たちの前で発表することができたのはとてもよい経験になったと思います。

残念ながら大学の中ではプレゼンテーション能力を鍛えるチャンスはそれほど多くないので、こういった形でプレゼンテーションをする機会が大学内でもっと増えていくてほしいと感じました。

今回のインターンシップではいろいろなことを経験しましたが、実際に仕事をしている社会人の中に入って様々なことを見聞きできたこと自体が自分にとって大きな収穫でした。このインターンシップを通して得た貴重な経験を無

駄にしないよう、ときどき振り返りながらこれからの日々の生活に活かしていきたいと思っています。